

寄贈図書リスト

- ① 量子重力と超プランクスケール物理, 浜田賢二, A5判, 288ページ, 7,200円+税, 森北出版

- ② 京大人気レクチャー 宇宙科学入門, 太田耕司 編著, B5変形, 176ページ, 2,200円+税, 科学同人



月報だよりの原稿は毎月20日に締切り、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。ご投稿いただいた記事は、翌月初旬に一度校正をお願いいたします。

記事の投稿は、e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

人事公募

核融合科学研究所 研究教育職員（データ科学分野・准教授又は助教）公募

- 募集人員1名
- (1) 所属分野: データ科学
(2) 勤務地 : 岐阜県土岐市下石町322-6
- 専門分野/4. 職務内容・担当科目: 核融合科学研究所では、令和8年度から学術研究基盤事業『超高温プラズマの「マイクロ集団現象」を中核とした核融合科学の学術研究基盤計画』(MCPoPプロジェクト)を推進しています。本プロジェクトでは、高温プラズマ実験とシミュレーションを連携した物理の探求と予測精度の高度化に資する「データ科学」を主要な研究課題のひとつとして位置付けています。今回の募集では、データ共同利用の利便性の向上に努めるとともに、データ科学の手法を通して計測データ解析のポテンシャルを引き上げ、シミュレーションや他のプラズマ実験との横断的連携を促進できる優れた人材を求めます。あわせて、学際的な展開を通じて、研究所の将来的な発展を担うことができる優秀な人材を期待しています。
- (1) 着任時期: 採用決定後のなるべく早い時期
(2) 任期 : 任期無し
- 応募資格: 博士の学位を有すること 等
- 提出書類: 詳細は「10. その他」記載のURLにおいて確認すること。(1) 履歴書 (2) これまでの研究内容 (3) 就任後の抱負 (4) 研究業績発表論文リスト (5) 論文別刷 (6) 添付する論文別刷の概要と本人の貢献を記載した文書 (7)

推薦書

- 応募締切: 随時選考を行い、採用枠が埋まった時点で受付を締め切る。
- (1) 提出先: 核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
E-mail nifs-jinji@nifs.ac.jp
(2) 問合せ先:
(1) 提出書類について
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
電話0572-58-2013(直通)
(2) 研究内容等について
核融合科学研究所 副所長 藤堂泰
E-mail todo@nifs.ac.jp
- その他(待遇など):
その他詳細は以下を参照ください。
<https://www.nifs.ac.jp/about/recruit/>

【JAMSTEC 新規大型公募】 先端的・横断的研究に挑む 若手研究者公募 JECR2026

国立研究開発法人海洋研究開発機構では、将来の海洋科学技術研究を担う若手研究者の募集を開始しました。先端的・横断的研究を遂行することが求められます。

■採用予定: 5名程度(副主任研究員/研究員)

※定年制職員への移行審査資格あり

■勤務地: 国立研究開発法人海洋研究開発機構以下の研究拠点のいずれか

- 横須賀本部 神奈川県横須賀市夏島町2番地15
- 横浜研究所 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173番25
- むつ研究所 青森県むつ市大字関根字北関根690番地
- 高知コア研究所 高知県南国市物部乙200(高知大学物部キャンパス内)

■専門分野：海洋科学および関連する自然科学・工学分野

■応募締切：2026年7月12日

■問合せ先：国立研究開発法人海洋研究開発機構
管理部門人事部人事任用課採用担当

recruit-app@jamstec.go.jp

※お問い合わせの際は、件名を「JECR2026公募について」としてください。

詳細は募集要項をご確認ください。

<https://www.jamstec.go.jp/recruit/j/details/jecr20260712/>

JAMSTEC リスタート支援公募

国立研究開発法人海洋研究開発機構では、ダイバーシティ推進の一貫として、出産・育児などのライフイベントで研究活動を中断した優れた研究者・技術者等に対し、再スタートの機会を提供する「JAMSTEC リスタート支援公募」を行っております。

■採用予定：以下のいずれかの職種で若干名

- ・研究職（副主任研究員・研究員）
- ・准研究職（准研究副主任・准研究員）
- ・技術職（技術副主任・技術主任）

※定年制職員への移行審査資格あり

■勤務地：国立研究開発法人海洋研究開発機構以下の研究拠点のいずれか

- ・横須賀本部 神奈川県横須賀市夏島町2番地15
- ・横浜研究所 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173番25
- ・むつ研究所 青森県むつ市大字関根字北関根690番地
- ・高知コア研究所 高知県南国市物部乙200（高知大学物部キャンパス内）

■専門分野：海洋科学および関連する自然科学・工学分野

■応募締切：2026年7月20日

■問合せ先：国立研究開発法人海洋研究開発機構
管理部門人事部人事任用課採用担当

recruit-app@jamstec.go.jp

※お問い合わせの際は、件名を「JAMSTEC リスタート支援公募について」としてください。

詳細は募集要項をご確認ください。

<https://www.jamstec.go.jp/recruit/j/details/restart20260720/>

研究助成

公益財団法人 宇宙科学振興会 2026年度助成事業2件公募のご案内

公益財団法人宇宙科学振興会は宇宙科学分野における学術振興を目指し、2026年度も引き続き下記の助成事業を行います。それぞれの応募要項の詳細は当財団のホームページ：<http://www.spss.or.jp> に掲載しています。それぞれの公募に対する応募申請に際してはホームページをご参照の上、申請書をダウンロード・作成いただき必要な書類を添付のうえ、財団宛に電子メール（admin@spss.or.jp）で申請ください。奮ってご応募いただくようご案内申し上げます。

(1) 国際学会出席旅費の支援

●支援対象

宇宙理学（飛翔体を用いた観測、探査、実験に関連する理学研究）および宇宙工学（宇宙航空工学を含む）に関する独創的・先端的な研究活動を行っている若手研究者（当該年度4月2日で35歳以下）、またはシニアの研究者（当該年度4月2日で63歳以上かつ定年退職した者）で、国際研究集会で論文発表または主要な役割などが原則として確定している者。海外で開催される国際学会に限り、リモートでの参加の場合でも参加費（上限5万円）については支援します。

●助成金額・件数：一件あたり10～30万円程度、年間10件程度

●申し込み受付時期

応募締切り2026年8月31日：2026年10月から2027年3月の期間に開催初日が予定される国際学会の参加者対象

応募締切り2027年2月28日：2027年4月から2027年9月の期間に開催初日が予定される国際学会の参加者対象

(2) 国際学会開催の支援

●支援対象

宇宙科学研究を推進している国内の学術団体（研究所、大学等）で、宇宙理学（飛翔体を用いた観測、探査、実験に関連する理学研究）及び宇宙工学（宇宙航空工学を含む）に関する国際学会、国際研究集会の国内開催を主催しようとする団体。リモートでの開催も支援対象です。

●助成金額・件数：一件あたり20～50万円程度、年間4件程度

●申し込み受付時期

応募締切り2026年8月31日：2026年10月から2027年3月の期間に開催初日が予定される国際学会対象

応募締切り2027年2月28日：2027年4月から2027年9月の期間に開催初日が予定される国際学会対象

●照会先

公益財団法人宇宙科学振興会事務局

<http://www.spss.or.jp>

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

Email: admin@spss.or.jp

Tel: 042-751-1126 (火, 木)

賞の推薦

令和9年度科学技術分野の 文部科学大臣表彰候補者の募集

本表彰は、文部科学省が推薦依頼を发出した機関(以下「推薦機関」という。)からの推薦のみを受け付けています。科学技術賞・若手科学者賞・研究支援賞については、日本天文学会も推薦機関です。

科学技術賞・若手科学者賞・研究支援賞の推薦機関一覧：
https://www.mext.go.jp/content/20260522-mxt_sinkou01-000029536_2.pdf

日本天文学会からの推薦をご希望の場合は、本会にて提出書類を審査のうえ推薦を決定します。

なお、同じく科学技術分野の文部科学大臣表彰として募集している「創意工夫功労者賞」については、本会は推薦機関ではありませんのでご注意ください。

日本天文学会 事務長

令和9年度科学技術分野文部科学大臣表彰について・ 文部科学省

〈表彰の対象〉

(1) 科学技術賞

- 1) 開発部門
- 2) 研究部門
- 3) 技術部門
- 4) 理解増進部門

(2) 若手科学者賞

(3) 研究支援賞

- 1) 研究開発マネジメント部門(令和8年より新設)
- 2) 高度技術支援部門(令和8年より新設)

※各賞の内容や対象者などの詳細は下記サイトおよび

各賞の推薦要項をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/000029536.htm

〈推薦要項〉

推薦要領および申請に必要な書類・様式については、賞・部門ごとに異なりますので、下記サイトの「2. 候補者の推薦について(推薦要領・申請書類等)」にある、当該の賞・部門の推薦要領を必ずご確認ください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/000029536.htm

〈問い合わせ先〉…表彰について(敬称略)

文部科学省研究振興局振興企画課奨励室

佐久間, 小林(里), 齋藤

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

電話: 03-5253-4111(内線4071)

E-mail: sinsyore@mext.go.jp

【日本天文学会の審査・機関推薦をご希望の場合】

学会への応募については自薦・他薦を問いませんが、候補者・応募者とも日本天文学会の会員に限らせていただきます。

また、他薦の場合は、応募前に必ず候補者の承諾を得て下さい。

なお、若手科学者賞などで必要となる推薦者についても、少なくとも1名は学会会員の方にお願ひしてください。

〈締切〉

2026年6月26日(金)(学会締切)

※審査の公平を期すため、締切日を過ぎた書類の提出・差替・追加は受け付けませんのでご注意ください。

〈提出先〉

住民票(または戸籍抄本)を除く申請書類一式をメール添付またはダウンロード情報を学会事務長<jimucho@asj.or.jp>へ送付。

住民票(または戸籍抄本)は、学会推薦が決定した方に後日改めて提出を依頼いたしますが、すぐに提出できるよう必要な準備はしておいてください。

個人の情報や業績内容の正誤、書式やURLなどの細かな不備などはこちらで確認できないため、応募する賞・部門の推薦要領や下記サイトをよくお読みいただき、間違いや記入漏れがないよう十分に確認のうえ、ご提出ください。

令和9年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 散見される不備/よくあるご質問

https://www.mext.go.jp/content/20260522-mxt_sinkou01-000029536_4.pdf

〈問い合わせ先〉…学会推薦について
 日本天文学会 事務長 一丸浩平
 Eメール: jimucho@asj.or.jp
 Tel: 0422-31-1359

会務案内

2026年度(第9回)日本天文遺産候補推薦の お願い

日本天文遺産選考委員会

日本天文学会では、歴史的に貴重な天文学・暦学関連の遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝え、その普及と活用を図ることをひとつの使命と考え、日本における天文学(以下、暦学も含む)的な視点で歴史的意義のある史跡・事物に対して日本天文遺産の認定を行っています。対象は原則として次のようなものになります。

- (1) 史跡・建造物: 天文学上、重要であった地点や建築・建造物、観測施設など。
- (2) 物品: 天文学上の重要な発見に関与する物品や天文学における歴史的意義が高い物品。観測機器や天文学研究に用いられた測定装置など。
- (3) 文献: 歴史的意義のある天文学関連の文書類など。

つきましては、日本天文学会の会員(正会員及び準会員)の方々からの候補の推薦を広く募集します(日本天文遺産は、会員の方々から推薦された候補の中から認定することになっています)。推薦書の様式は、以下の日本天文学会のサイトからダウンロードすることができます。なお、連名で推薦される場合は推薦者全員が日本天文学会の会員である必要はありません。

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/designation/heritage/>
 (日本天文学会/学会の活動/認定/日本天文遺産/推薦要領)

必要事項を記入の上、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/メール: jimu@asj.or.jp)へお送りください。送付方法は郵便, Fax, 電子メール添付のいずれでも結構です。現在の管理者・所有者に推薦した旨を連絡しておいていただけると幸いです。皆様の推薦の中から天文遺産選考委員会が候補を絞り、日本天文学会代議員総会にて決定します。

認定された日本天文遺産の所有者等には、認定証および認定されたことを示すパネルまたは楯を贈呈します。これにより対象物の歴史的価値を広く世の中にアピールし、その保全への支援となることを期待しています。

2026年度の認定遺産の発表と認定証贈呈式は、2027年3月の日本天文学会春季年会会場にて行う予定です。推薦は、2026年8月31日までに学会事務所へ到着したものを有効とします。候補に対しては必要に応じて現地調査を行います。なお「歴史的」とは長い年月を経ているという意味ではなく、長く後世に伝えていくべき価値を有するものと考えていただければと思います。なにとぞ多数の推薦をよろしく願いたします。

また、推薦された史跡・事物については、2026年度に日本天文遺産として認定されなかった場合でも、選考委員会において日本天文遺産候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の史跡・事物を、翌年以降に重ねて推薦する必要はありません。ただし、推薦書記載の内容に変更や追記がある場合は、再度の提出をお願いいたします。

天文月報 119 巻 8 月号 主な掲載予定記事

アルマ望遠鏡イメージングツール・PRIISM特集：アルマ望遠鏡イメージングツールPRIISMの概要【中里剛，池田思朗】 アルマ望遠鏡イメージングツールPRIISMが拓くサイエンス：原始惑星系円盤の微細構造【山口正行，所司歩夢】 アルマ望遠鏡イメージングツールPRIISMの今後の展望【池田思朗，塚越崇，竹内努】

ASTRO NEWS: XRISMニュース (9) Xtendによる突発天体探査・速報【米山友景，善本真梨那】

EUREKA: 中性子星への超臨界降着流【井上壮大】 超新星シミュレーションを活かした素粒子標準模型を超えた物理の探索【森寛治】

編集委員：日下部展彦（編集長），岡本文典，小山翔子，志達めぐみ，鈴木大介，高橋葵，田中壺，谷川衝，鳥海森，中島亜紗美，信川久実子，橋本拓也，福島肇，藤澤幸太郎，宮武広直，宮本祐介，守屋堯

令和8年6月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487

振込口座：郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店（普）4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会 2026 年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）